



● 狂言瘦 やせまつ
松

小笠原 匡

● 仕舞 和布刈 わふかり

森本 哲郎

● 実盛 まきもり
キリ 松浦信一郎

● 山姥 やまんば
クセ 山本 章弘

● 能 鶴 ねえ
白頭 はくとう 山本 博通
都へ上る僧は仕方なく御堂に泊まる。
夜も更ける頃、鶴の化身を名乗る舟人が現れ、
源頼政の矢にかかり命を落とした顛末を語る。

平成25年12月1日(日) 1時開演

12月のたにまち能



● 能 卷 まきまき
絹 まきまきぬい 山本 麗晃
熊野三社へ巻絹を届ける途中
見事な梅に和歌を詠み、遅れてしまう。
使者は縛められるが、
そこへ音無天神の霊が憑いた巫女が現れる。



85th
山本能楽堂
Since 1928

国登録有形文化財
山本能楽堂
公式ホームページを
ご覧ください
<http://www.noh-theater.com/>

■主催/公益財団法人 山本能楽堂

■後援/大阪府・大阪市・公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
■助成/平成25年度 トップレベルの舞台芸術創造事業

入 場 券 ●一般券 5,500円 ●学生券 3,000円 綴り割引券(3回分) ●一般券 15,000円 電子チケットぴあ pia.jp/t (Pコード 424-145) 0570-02-9999
お問い合わせ 山本能楽堂/Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744 公式ホームページ <http://noh-theater.com/> e-mail info@noh-theater.com

※山本能楽堂は平成18年12月に国登録文化財に指定されました。

午後1時始

能「巻絹」

シテ(巫女) 山本 麗晃
ツレ(都ノ使者) 朝原 広基
ワキ(勅使) 福王 知登
アイ(下人) 小笠原 匡

笛 杉 市和
小鼓 成田 達志
大鼓 山本 哲也
太鼓 中田 弘美

後見 山本 博通
山下 麻乃
地謡 山本 章弘
河村 栄重
森本 哲郎
今村 宮子
今村 一夫
林本 大和
前田 和子
吉山 有



山本 麗晃

●あらすじ

帝の勅命により巻絹を熊野三社に奉納することになり、都から巻絹を届ける使者(ツレ)は途中、熊野の音無天神へ詣で、梅が見事に咲いているのを見て和歌を詠んだため、遅くなる。そのため、熊野本宮で待っていた勅使(ワキ)のところに行くと、納期に遅れたことを理由に下人(アイ)に縛められてしまう。そのとき音無天神の霊が憑いた巫女(シテ)が現われ、使者が遅れた理由を説明し、証拠として、使者に詠んだ和歌の上の句を詠ませ、巫女が下の句を詠み、縄を解く。その後、天竺で釈迦が仏になったのは和歌のおかげであると和歌の偉徳を賛えて舞い、続けて勅使の求めに応じて祝詞をあげ舞いますが、突然霊が去り正気に戻るのだった。

曲名の「巻絹」とは、軸に巻き付けた絹の反物の意味です。巫女の舞と和歌の徳の二本の柱から成り立つ古作の能だといわれています。

使者が和歌を詠んだ音無天神は熊野本宮の近くにある神社。使者が和歌を詠んだ梅は鳥居の近くにあったようですが、明治22年の大水害で本宮の社殿が大損害を受けたときに、梅も被害を受けて伐採され、今は残らないとのこと。

狂言「瘦松」

シテ(山賊) 小笠原 匡
アド(女) 山本 豪一

後見 泉 慎也

●あらすじ

山賊言葉で、たくさん物を奪った時のことを「肥松」といい、大して物を奪えなかった場合を「瘦松」というそうです。

最近稼ぎが悪い山賊は、今日こそは何と獲物を得たいと出かけていくと、山道で女が通りかかります。山賊は長刀を振り回して女を脅し、持ち物を奪いますが、奪ったものを物色している間に隙をつかれて、女に長刀を奪われてしまいます。さて…?

仕舞「和布刈」

森本 哲郎

「実盛」

松浦信一郎

「山姥」

山本 章弘

地謡 波多野 晋・今村 宮子・前田 和子・吉山 有

休憩10分

能「鶴白頭」

前シテ(舟人) 山本 博通
後シテ(鶴ノ霊) 福王 和幸
ワキ(僧) 泉 慎也
アイ(里人) 泉 慎也

後見 河村 栄重
林本 大
地謡 山本 順之
波多野 晋
松浦信一郎
今村 一夫
高橋 京子
山下 麻乃
朝原 広基
山本 麗晃



山本 博通

●あらすじ

都へ上る諸国一見の僧(ワキ)が芦屋の里に着くが、日が暮れたので里人(アイ)に宿を請うが、所の掟によって貸さないで、僧は仕方なく須崎の御堂に泊まる。夜も更ける頃、舟の形の埋もれ木に乗った異様な姿の舟人(前シテ)が現れ、僧に甲いを頼む。自ら鶴の化身と名乗る舟人は、源頼政の矢にかかって命を落とした顛末を話し、浪の底に消えていく。(中入)

僧が読経をしていると、鶴の亡霊(後シテ)が現れ、頼政に退治され、うつほ舟に押し込まれて淀川に流された様子を再現し、ふたたび海中へと消えてくだった。

鶴とは、「頭ハ猿、尾ハ蛇、足手ハ虎の如くにて、鳴く声鶴に似たりけり」と描写される合成獣です。しかしその名が表す通り声こそが鶴の本姓で、姿は後の文献によって小異があるようです。「ぬえ」は古くから和歌に恐ろしげな鳴き声を発する鳥として詠まれるものの、その正体は分からなくなっていました。能の《鶴》でも、前シテが最初に「身は龍鳥」と謡うように、鳥の一種として描写されているようです。

小書「白頭」は通常、赤頭を使用するのを白頭に変えるもので、全体的に位が重くなります。

午後5時過ぎ終了

公益財団法人 山本能楽堂 賛助会員募集のお知らせ

山本能楽堂は大阪市中央区徳井町(谷町4丁目)に、山本家先代 山本 博之が、昭和2年に建設しました。その後戦火に遭い、一度焼失しましたが、昭和25年に再建し現在に至っております。

そしてこの度、更なる能楽の普及、発展をめざし、公益財団法人 山本能楽堂を発足致しました。それに伴い、さらに広く皆様方に能楽の楽しさに触れ魅力を感じて頂くため、平成19年度より賛助会員を募集させて頂く事になりました。

ご入会頂きますと「たにまち能(山本定期能)」のご招待、各種公演の御案内、山本能楽堂のご使用料金の割引等の特典を受けて頂く事ができます。お一人でも多くの方にご支援頂き、能楽の普及にお力添えを賜りますれば、何より有難く、御賛同賜ります様よろしくお願ひ申し上げます。

	個人会員 A	個人会員 B	法人会員
年会費1口	10,000円	30,000円	100,000円
ご招待(一口あたり)	たにまち能招待券2枚(通常11,000円)	たにまち能招待券6枚(通常33,000円)	たにまち能招待券などもしくは舞台使用料を会費分値引
その他の特典	●各種公演の御案内を無料送付 ●会員様だけのイベントに参加		

●招待券はご本人様以外でもご利用いただけます。 ●ご入会頂いた方には、税制上の優遇があります。詳細は能楽堂までお問い合わせ下さい。

●通常「たにまち能」は年間6回の公演で、1回につき2種類の能と狂言の構成になっております(1回は素謡会)1回券 5,500円

●招待券は1月から12月までの公演でお使いできます。

※素謡会とは…「能」の要素には謡(歌)と舞があります。お囃子や舞、動き、装束などを除いた謡の部分をお願いいたします。

ご入会頂きます方は、下記お問い合わせ先までおたずね下さいませ。後日、(公財)山本能楽堂より書類をお送りさせていただきます。会員になられる前に、能楽堂の見学をご希望の方はご連絡下さい。

国登録有形文化財 山本能楽堂
改修事業募金のご協力をお願い

山本能楽堂は、文化庁の「重要建造物等公開活用事業」として、この度初めての耐震補強を中心とした改修事業を行わせて頂きます。「国のたから」である能楽堂を次世代に継承し、日本の伝統芸能を守るためにも、広く皆様方のご協力をお願い申し上げます。なお、1口1万円以上ご寄付頂いた方のお名前を山本能楽堂内に掲示させていただきます。(ご希望の方のみ)皆様方からのご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



三浦 幸子

お申込方法等、詳しくは
下記(公財)山本能楽堂までお問い合わせください。
詳細をお送りさせていただきます。

■主催/公益財団法人 山本能楽堂
■後援/大阪府・大阪市・公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
■助成/平成25年度 トップレベルの舞台芸術創造事業
山本能楽堂/Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744
e-mail info@noh-theater.com
山本能楽堂のホームページ/http://www.noh-theater.com/



地下鉄谷町4丁目④番出口より、北に一筋目の角を左へ100m、南側(徒歩2分)

次回のたにまち能

平成26年1月5日(日) 10時開演

於 山本能楽堂

- 翁 梅若 玄祥
- 能 鶴亀 山本 章弘
- 能 岩船白頭 森本 哲郎